

平成 29 年度設計技術講習会について

従来の外皮の詳細計算ルートでは対応が難しいと感じる方や、より簡便に結果を求めたい方などに向け、本年度から簡易評価法の運用がスタートします。

本講習の「設計技術講習」では、省エネ基準評価の入門編となる『仕様基準』および新しい『簡易評価法』に基づく断熱等の外皮性能に関わる内容を中心に、省エネ基準に則した評価方法（仕様ルートおよび簡易計算ルート）を解りやすく周知、習得することを目的としています。

省エネルギー基準の評価方法には、①仕様ルート ②簡易計算ルート ③詳細計算ルートの3つのルートがあります。3つのルートとも、外皮の断熱性能と日射遮蔽性能を評価する「外皮性能基準」と、設備機器の性能や効率を評価する「一次エネルギー消費量基準」について適否の評価をします。

【3つのルートの評価方法の特徴】

	本年度からの新しい講習		従来の講習
	仕様ルート	簡易計算ルート	詳細計算ルート
作業難易度	容易	やや容易	やや難しい
作業時間の比率	1 (面積計算をしない場合)	2	5
建物形状の評価	評価しない	評価しない	評価する
窓面積の評価	評価しない	評価しない	評価する
部位間のトレードオフ	できない	できる	できる
設備の用途（暖冷房や給湯など）間のトレードオフ	できない	できる	できる
設備機器の選択肢	限定される	限定しない	限定しない
評価結果	適否のみ	数値による性能レベル	数値による性能レベル
設計技術講習会の講習日 ※詳細は案内申込書をご覧ください。	10/19 ・ 11/17 11/24@津山 12/16 ・ 1/17		9/30 10/25 12/6